




















# 12月1日より、繊維製品の 取扱い絵表示が変わります

2016年12月1日より施行される、新しい家庭用品品質表示法により、繊維製品に付随する洗濯表示マークが変更になります。変更に伴い、旧表示の商品と新表示のものが混在する場合がございます。ご了承ください。

以下、現行表記と新しい表記を記載いたします。

株式会社世界文化社 家庭画報ショッピングサロン

現 行 (JIS L 0217 : 1995)		新 規 格 (JIS L 0001 : 2014)	
1. 洗いや方(水洗い)の記号		1. 洗濯処理の記号	
101	101 : 液温は95℃を限度とし、洗濯ができる 	190	190 : 液温は、95℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる 
(該当なし)		170	170 : 液温は、70℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる 
102	102 : 液温は60℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる 	160	160 : 液温は、60℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる
(該当なし)		161	161 : 液温は、60℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる 
103	103 : 液温は40℃を限度とし、洗濯機による洗濯ができる 	150	150 : 液温は、50℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる
104	104 : 液温は40℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい 	151	151 : 液温は、50℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる 
105	105 : 液温は30℃を限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい 	140	140 : 液温は、40℃を限度、洗濯機で通常の洗濯処理ができる
106	106 : 液温は30℃を限度とし、弱い手洗いがよい洗濯機は使用できない 	141	141 : 液温は、40℃を限度、洗濯機で弱い洗濯処理ができる
107	107 : 家庭で水洗いはできない 	142	142 : 液温は、40℃を限度、洗濯機で非常に弱い洗濯処理ができる
2. 塩素漂白の可否の記号		2. 漂白処理の記号	
201	201 : 塩素系漂白剤による漂白ができる 	220	220 : 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる
202	202 : 塩素系漂白剤による漂白はできない 	210	210 : 酸素系漂白剤による漂白処理ができるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない 
3. 絞り方の記号		3. 絞り方の記号	
501	501 : 手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は短時間で絞るのがよい 	200	200 : 漂白処理はできない 
502	502 : 絞ってはいけない 	(該当なし)	

現 行 (JIS L 0217 : 1995)			
4. 干し方の記号			
(タンブル乾燥)			
(該当なし)			
(干し方)			
601	602	601: つり干しがよい 602: 日陰のつり干しがよい	
603	604	603: 平干しがよい 604: 日陰の平干しがよい	
5. アイロンの掛け方の記号			
301	302	303	301: 210℃を限度とし、高い温度(180℃～210℃まで)で掛けるのがよい 302: 160℃を限度とし、中程度の温度(140℃～160℃まで)で掛けるのがよい 303: 120℃を限度とし、低い温度(80℃～120℃まで)で掛けるのがよい
304	304: アイロン掛けはできない		
6. ドライクリーニングの記号			
(ドライクリーニング)			
401	401: ドライクリーニングができる。溶剤は、パークロロエチレンまたは石油系のものを使用する		
402	402: ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のものを使用する		
403	403: ドライクリーニングはできない		
(ウエットクリーニング)			
(該当なし)			

新 規 格 (JIS L 0001 : 2014)				
4. 乾燥処理の記号				
(タンブル乾燥処理) 家庭でのタンブル乾燥のみの記号				
320	310	300	320: 洗濯後のタンブル乾燥ができる 高温乾燥: 排気温度の上限は最高80℃ 310: 洗濯後のタンブル乾燥ができる 低温乾燥: 排気温度の上限は最高60℃ 300: 洗濯後のタンブル乾燥はできない	
(自然乾燥処理)				
440	445	430	435	440: 脱水後、つり干し乾燥がよい 445: 脱水後、日陰でのつり干し乾燥がよい 430: 濡れつり干し乾燥がよい 435: 日陰での濡れつり干し乾燥がよい
420	425	410	415	420: 脱水後、平干し乾燥がよい 425: 脱水後、日陰の平干し乾燥がよい 410: 濡れ平干し乾燥がよい 415: 日陰の濡れ平干し乾燥がよい
5. アイロン仕上げ処理の記号				
530	520	510	アイロン仕上げ処理ができる 530: 底面温度200℃を限度 520: 底面温度150℃を限度 510: 底面温度110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ	
500	500: アイロン仕上げ処理はできない			
6. 商業クリーニング処理の記号				
(ドライクリーニング処理の記号)				
620	621	パークロロエチレン及び記号⑥の欄に規定の溶剤でのドライクリーニング処理(タンブル乾燥含む)ができる 620: 通常の処理 621: 弱い処理		
610	611	石油系溶剤(蒸留温度150℃～210℃、引火点38℃～)でのドライクリーニング処理ができる 610: 通常の処理 611: 弱い処理		
600	600: ドライクリーニング処理はできない			
(ウエットクリーニング処理の記号)				
710	711	712	ウエットクリーニング処理ができる 710: 通常の処理 711: 弱い処理 712: 非常に弱い処理	
700	700: ウエットクリーニング処理はできない			

出典: 国民生活センター『国民生活』

[http://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201501\\_04.pdf](http://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201501_04.pdf)

本件詳細につきましては、以下のホームページに記載されておりますので、ご参照ください。

消費者庁ホームページ [http://www.caa.go.jp/hinpyo/guide/wash\\_01.html](http://www.caa.go.jp/hinpyo/guide/wash_01.html)